



LCGT Digital作業部会報告

2009/5/19(火) LCGT干涉計会議
東京大学宇宙線研究所 宮川 治



メンバー

- 5月12日にMLを通して作業部会発足
- かなり絞り込んだ初期メンバー：
 - 宮川、辰巳、新井、麻生、三代木、川村、安東
 - 後に、石徹白、穀山がMLを介して参加
- ほとんどのメンバーが他の作業部会と重なり、忙しいのと、今のところあまりメンバーを増やしたくないのでLCGT MLに流して募集するとかはない予定



進展状況

- 目的
 - 「LCGTの干渉計制御のため、日本のグループとしてはほぼ新たな技術となるデジタル制御を導入するが、そのために必要な技術、リソース等を検討し、よりよいシステムを構築、提供する。」
- デジタルシステムの役割
 - Digital control system
 - Detector tuning system
 - Detector diagnosis system
 - Long term monitor
 - Auto lock / auto alignment sequencer
 - Detector operation system for GW observation
 - GW search data calibration
 - Real time data analysis



進展状況

- 当面の仕事
 - ICDを早急に決める
 - 要求される性能の検討
 - LCGT design document 改訂版のアップデート
- テスト機をCLIOに一台導入し、R&Dを行う
- Wiki:<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/JGWwiki/LCGT/subgroup/ifo/digital/LCGT/subgroup/ifo/digital>